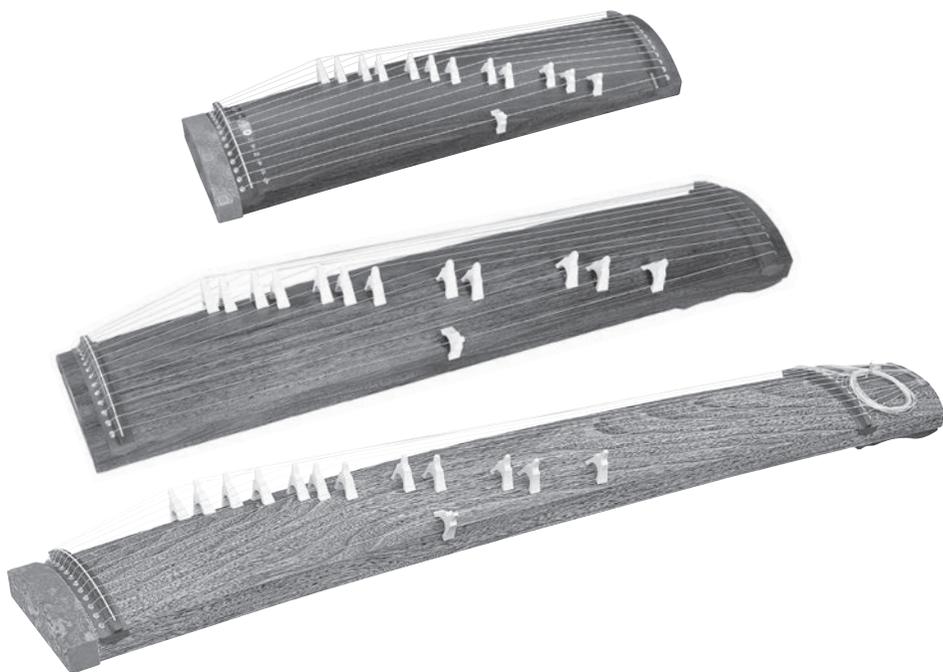


取扱説明書

スズキオリジナル箏

六尺箏とき・自在短箏ちどり・三尺箏竜扇



この度は、「スズキオリジナル箏」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品を安全に、そして末永くご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった取扱説明書はなくさないよう、大切に保管してください。

 **SUZUKI**

スズキオリジナル箏の特長

スズキオリジナル箏は、チューニングピン、チューニングハンドルを使うことにより、糸の張り替えがご自分でできます。また箏柱を立てる場所(平調子の場合)がわかるマークを甲に配しましたので、柱を立て直した時、簡単に基本位置に置くことができます。さらに付属の糸名シールで、どの糸がどの音か一目で分かるので、初心者の方でも楽譜を見ながらスムーズに演奏できます。

目次

使用上の注意……………	2	糸の張り替え方ーときの場合ー ……	8
はじめに……………	3	糸の張り替え方ーちどり・竜扇の場合ー	10
各部の名称……………	4	譜面……………	12
演奏の前に……………	5	「さくら」横譜	
柱を立てます		「さくら」縦譜	
チューニングします		「荒城の月」横譜	
		「荒城の月」縦譜	
演奏しましょう……………	6	仕様……………	16
爪をはめます			
右手			
左手			

使用上の注意

 本製品を安全にお使いいただくため、以下の注意を必ずお守りください。

水分・湿気の多い場所での使用・保管は絶対にしないでください。

故障や破損の原因になります。

極端に熱くなる場所(自動車の中、暖房器具のすぐ近くなど)での使用・保管は絶対にしないでください。

故障や破損の原因になります。

衝撃を与えないでください。

楽器をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく故障の原因になります。

不安定な場所に置かないでください。

落下をして思わぬけがをする恐れがあります。

チューニング時は、楽器に顔を近付けすぎないようにしてください。

万一、糸が切れますと、顔や目を傷つける恐れがあり危険です。

チューニングピンの巻き戻しはていねいにゆっくりおこなってください。

ネジ部分の破損につながります。

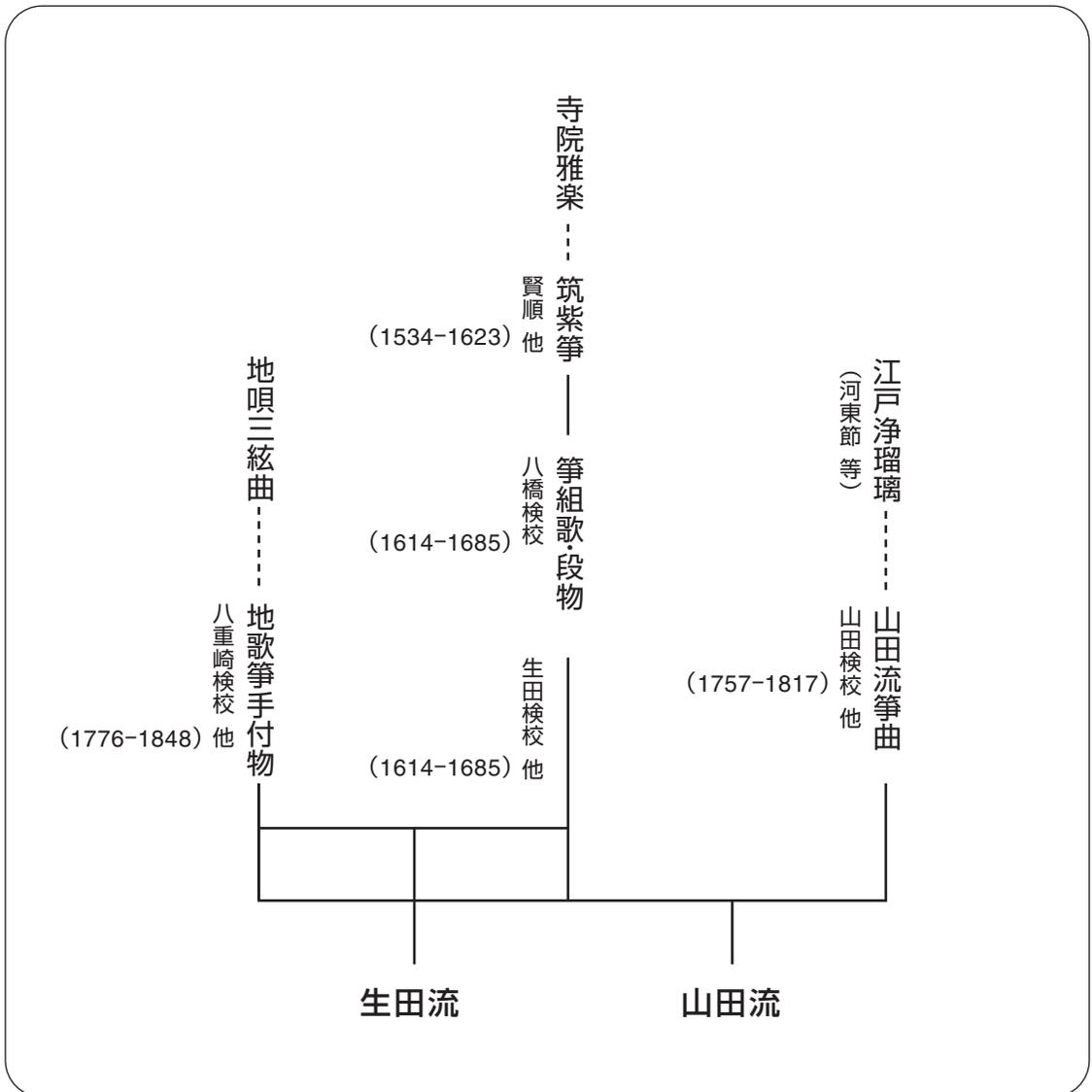
お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。

アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので、絶対に使用しないでください。

はじめに

“箏”という楽器は奈良時代に中国から伝来し、鎌倉時代の寺院雅楽、室町時代賢順による筑紫箏を経て江戸時代、八橋検校によって現在の箏曲と呼ばれている音楽を樹立しました。(下図を参照)

そして今日、箏には大別して生田流、山田流の2つがあります。

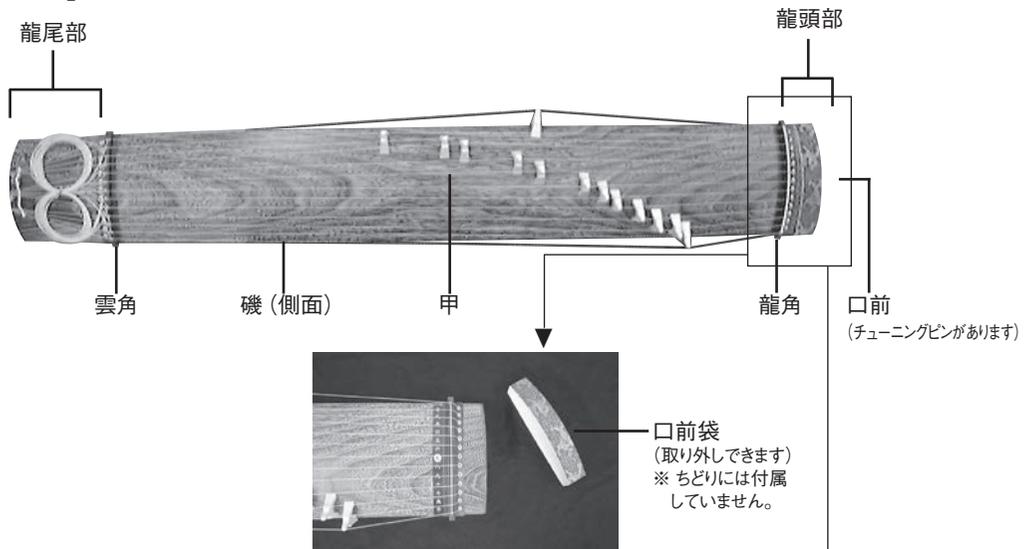


各部の名称

◆各部の名称を覚えましょう

箏の各部の名称は中国の伝説上の動物である龍にたとえて付けられています。
弾く方が頭「龍頭部」になります。※写真は「とき」ですが、「ちどり」・「竜扇」も同様です。

【表側】



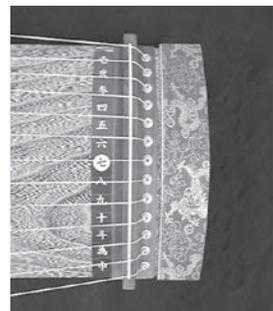
龍頭

箏は龍頭が右側にくるように置き、糸は自分より一番離れている側から順に

いち に さん し ご ろく しち はち く じゅ と い きん
壺・弍・参・四・五・六・七・八・九・十・斗・為・巾
と呼びます。(右図)

※「壺」「弍」「参」は、それぞれ「一」「二」「三」とも表します。

譜面では後者が用いられますが、糸名シールは糸との視認性を考慮して文字(壺・弍・参)を使用しております。



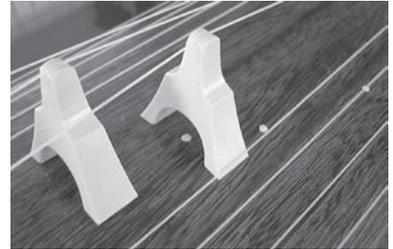
【裏側】



演奏の前に

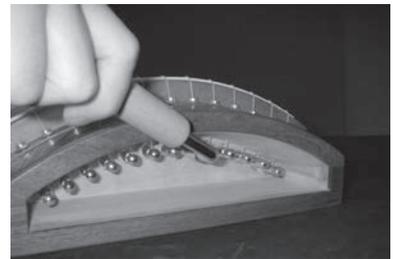
◆柱を立てます

甲に箏柱を立てる位置(平調子の場合)を示すマークが配してあります。マークがある位置に一つずつ柱を立てていきます。龍頭が右になる位置に座り、右手で糸を持ち上げ、左手で柱を持ち、柱の上の細い溝(糸道)に糸をのせます。



◆チューニングします

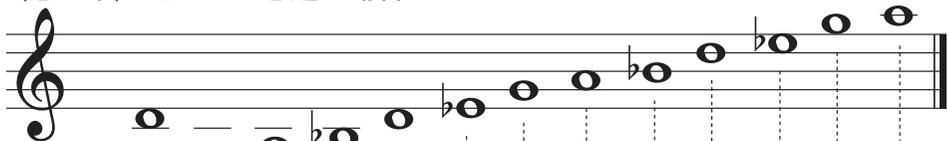
柱をすべて立てたら、チューニングします。チューニングハンドルをチューニングピンにはめ、糸を弾き、平調子の音階(下図)になるようチューニングします。チューニングの微調整は柱を置く位置でおこなってください。龍角に近付くほど音が高くなり、離れるほど音が低くなります。チューニングの際にはチューナーを使用すると便利です。



※写真は「とき」ですが、「ちどり」・「竜扇」も同様です。

【平調子】

基音(壱の糸) D=レ=壱越の場合



※曲によっては1オクターブ(低く調絃する場合もあります)。

箏の糸名	壱	弐	参	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾
英	D	G	A	bB	D	bE	G	A	bB	D	bE	G	A
実音名	レ	ソ	ラ	変シ	レ	変ミ	ソ	ラ	変シ	レ	変ミ	ソ	ラ
耳に聞こえる音	ミ	ラ	シ	ド	ミ	ファ	ラ	シ	ド	ミ	ファ	ラ	シ

【注意】

糸はチューニングピンを締める(右に巻く)と伸び、ゆるめる(左に巻く)と締まるという糸そのものが持つ伸縮性がありますので、チューニングした後、多少の狂いがあります。しばらく置いて糸が安定してからもう一度、調子をとってみてください。

演奏しましょう

◆爪をはめます

右手の親指、人差し指、中指に付属の爪をはめます。
付属の爪は生田流ですが、山田流も同じです。
※図中の「1・2・3」は指番号です。
※爪はMサイズの外に、SサイズとLサイズが別売で用意されております。お問い合わせ下さい。

【注意】

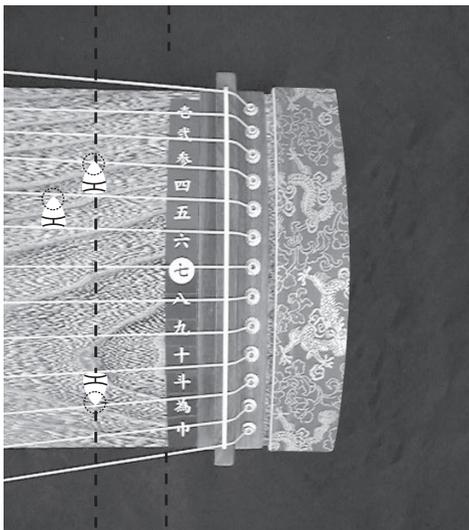
爪をはめた際、指が曲がったり、第一関節までが細くて爪の取れやすい人は卵白などを用いて、しっかりととはめます。



◆右手

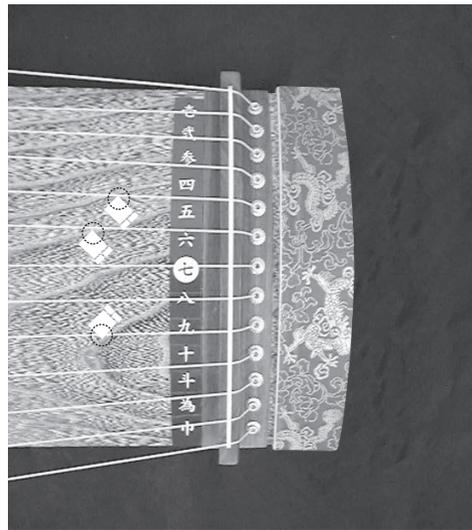
【山田流の場合】

糸に対して直角に爪を当てます。



【生田流の場合】

糸に対して斜めに爪を当てます。

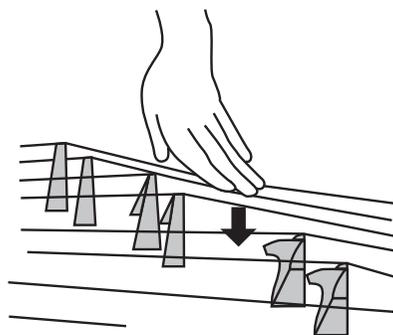


←→ 約2cm ○は糸に当たる爪の部分を示しています。

音色は、龍角から離れるほど柔らかく、また龍角に近づくほどかたい感じになります。
※写真は「とき」ですが、「ちどり」・「竜扇」も同様です。

◆左手（箏柱の左側）

基本的に弾くのではなく、13本の音では足りない半音、一音を左手で箏柱の向こう側を押してつくります。これを「押し手」といいます。また、様々な手法があり、施すことによって更に豊かな音が出せます。



糸の張り替え方 ーとぎの場合ー

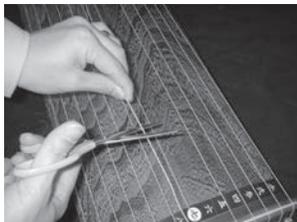
糸には丈夫な素材を用いていますが、長期にわたる使用で、爪があたる部分が摩耗し、切れることがあります。糸の摩耗が進んできたら、糸が切れる前に、張り替えるといいでしょう。

1. 張り替えたい糸をはずします。

- ① 張り替える糸のチューニングピンをゆるめ、チューニングピンから糸をはずします。

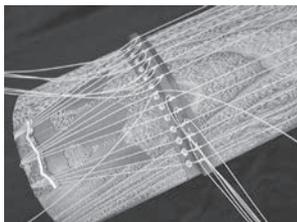


- ② 張り替えたい長さ分の糸をハサミ等で切ります。
(絃長分を替えたい場合は、雲角の近くで切るといいでしょう。)

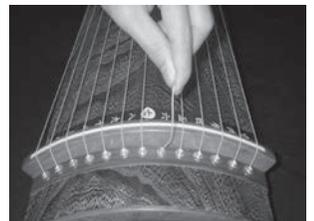
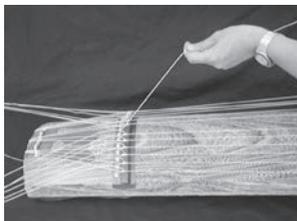


2. 雲角にある糸の結び目をほどき、必要な長さの糸を引き出します。

- ① 糸の輪をほどきます。
これは、余っている糸を輪にしたものです。
張り替えの時には、ここから糸を引き出して使います。



- ② 張り替える糸の結び目をほどき、芯座から出ている糸を引っ張って、龍頭側の芯座へ通します。

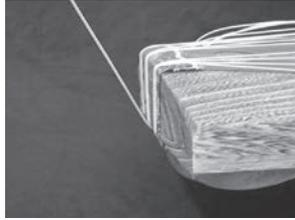


- ③ 糸をチューニングピンへ通します。
1.5cm~2cm残しになるよう、余分な糸は切っておきましょう。
糸が抜けないようにチューニングピンを数回巻いてください。

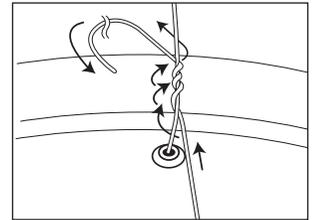
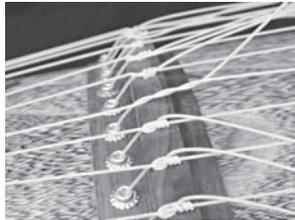


3. 糸を結びます。

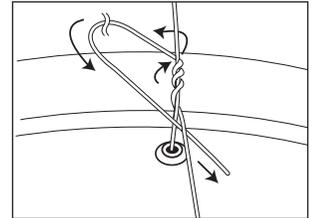
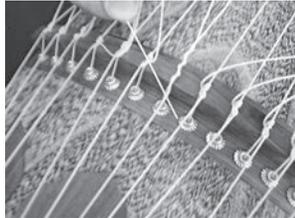
- ① 龍角から雲角へ、まっすぐになる程度まで、糸をたぐり寄せます。
- ② 龍尾(裏穴)から糸を引っ張って、雲角上で結びます。(A~Cの手順)



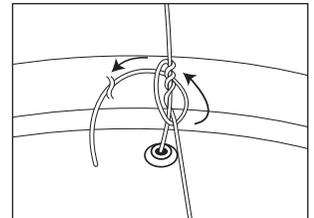
- A: 図のように、3回程、巻き付けます。



- B: 巻いた糸の先端を図のように糸と糸の間へ通します。

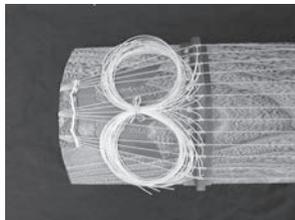


- C: 糸の先端を全ての糸の一番下へ差し込み、引っ張ります。



4. 余っている糸を、きれいに整えます。

- ① 「壺~六」の糸をまとめて時計回りに、「七~巾」の糸をまとめて反時計回りに、それぞれ輪にします。
- ② 輪が固定されるよう、七の糸の下に紐をくぐらせて、二つの輪を結びます。



5. チューニングして、音を合わせたら完成です。

糸の張り替え方 ーちどり・竜扇の場合ー

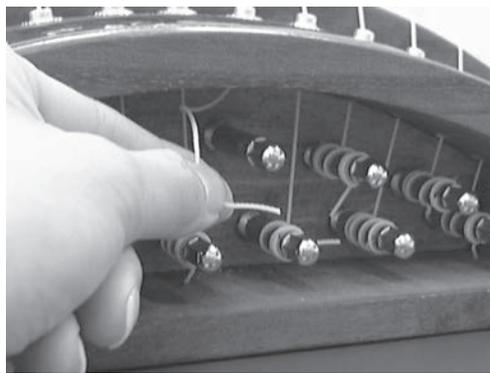
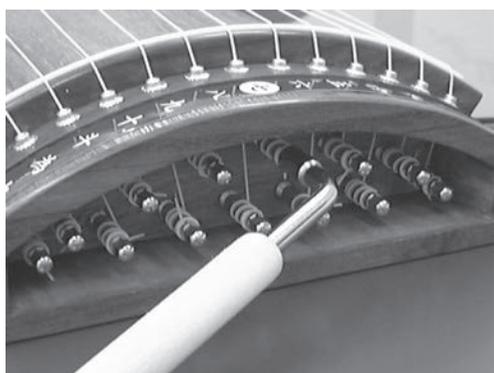
糸には丈夫な素材を用いていますが、長期にわたる使用で、爪があたる部分が摩耗し、切れることがあります。糸の摩耗が進んできたら、糸が切れる前に、張り替えるといいでしょう。新しい糸に関しては、お買い上げの販売店またはスズキ各営業所にお問い合わせください。

糸の張り方について動画でご紹介しています。



1. 張り替えたい糸をはずします。

① チューニングピンをゆるめ、チューニングピンから糸をはずします。

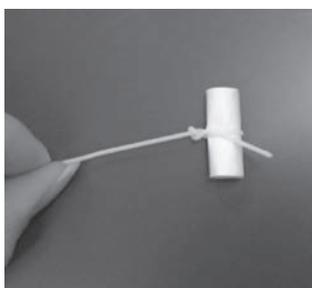


② 裏穴から手を入れ糸玉を持って芯座から糸を抜き、糸玉から糸をはずします。

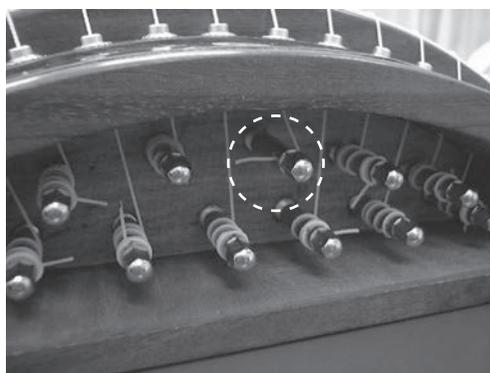


2. 新しい糸を張ります。

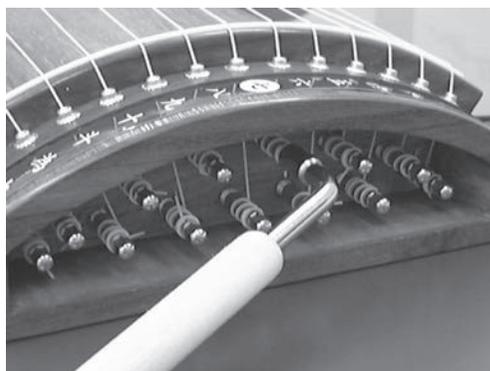
- ① 新しい糸を芯座に通し、箏を裏返して裏穴から糸を取り出し、糸玉に結びます。



- ② 糸をチューニングピンに通し、1.5cm～2cm残しになるように余分な糸は切ってください。



- ③ チューニングピンを巻き、音の高さを合わせます。



譜面

箏の楽譜は、横譜・縦譜があります。横譜は五線譜と同様に、縦譜は右から縦に読んでいきます。一桙一桙が一拍にあたり、その中に記されている糸名の糸を弾いていきます。○は休止符を表しています。

ここでは箏の平調子に合わせ、その調弦で弾ける馴染みある曲「さくらさくら」と「荒城の月」を取り上げ、それぞれ横譜と縦譜の両方を載せました。

さくら

平調子
中庸の速さで

原曲「咲いたさくら」
文部省音楽取調掛 歌詞改作

さくら さくら やよいの そらーは
| 七 七 八 - | 七 七 八 - | 七 八 九 八 | 七 八 七 六 - |

み わ た す か ぎ - り か す み か く も - か
| 五 四 五 六 | 五 五 四 三 - | 為 巾 [△] 巾 巾 | 為 巾 為 斗 - |

に お い ぞ い ず - る い ざ や い ざ や み - に
| 十 九 十 斗 | 十 十 九 八 - | 七 七 八 - | 七 七 八 - | [▲] 九 十 斗 - |

ゆ - か ん
| 巾 為 斗 十 - | 五 十 五 十 | 五 五 十 九 八 七 | 八 八 七 六 - | (五 - ○ ○ ||

△…弱押し (半音上げる) ▲…強押し (一音上げる)

さくら

平調子 一絃 Ⅱ D

八	才九	十	五	七
八	十	九	四	七
七				
六	斗	十	五	八
◎	◎	斗	六	◎
3一五	巾	十	五	七
	為			
◎	斗	十九	五四	七
○	十	八	三	八
○	◎	◎	◎	◎
	五六 ³	七	為	七
	十	七	巾	八
	五六 ³	八	ヲ巾	九
	十	◎	巾	八
	五六 ²	七	為	七
	五六 ³			
	十九	七	巾	八
	九		為	七
	八	八	斗	六
	七	◎	◎	◎

譜の読み方

- ◎…二分音符分の長さ (前音の持続音)
- …四分休符

ヲ…半音の押し手
 才…一音の押し手

2…右手人さし指
 3…右手中指

荒城の月

平調子 一絃 Ⅱ D

十	九	十	十
十	九	十	十
為	八	為	為
巾	七	巾	巾
ヲ巾	斗	ヲ巾	ヲ巾
巾	△斗	巾	巾
為	十	為	為
○	○	○	○
斗	オ九	斗	斗
オ九	十	オ九	斗
十	斗	十	十
△十	△斗	△十	オ九
七	十	七	十
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

譜の読み方

△：八分音符分の長さ（前音の持続音）

仕様

とき（六尺箏）

材質	桐・花梨巻
寸法	幅（全長）181×奥行27×高さ11.5cm
絃長	155cm
重量	6.5kg
備考	チューニングピン方式・平調子柱位置マーク付
付属品	箏柱・チューニングハンドル・糸名シール・ソフトケース・ 箏つめセット（つめ、つめ皮 M サイズ3ケセット）

ちどり（自在短箏）

材質	桐・花梨巻
寸法	幅（全長）122×奥行27×高さ11.5cm
絃長	112cm
重量	4.8kg
備考	チューニングピン方式・平調子柱位置マーク付
付属品	箏柱・チューニングハンドル・糸名シール・ソフトケース・ 箏つめセット（つめ、つめ皮 M サイズ3ケセット）

竜扇（三尺箏）

材質	桐・花梨巻
寸法	幅（全長）92×奥行25×高さ11.5cm
絃長	83cm
重量	2.8kg
備考	チューニングピン方式・平調子柱位置マーク付
付属品	箏柱・チューニングハンドル・糸名シール・ゆたん（箏を包む布）・ 箏つめセット（つめ、つめ皮 M,L サイズ各3ケセット）

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家2-25-7 ☎(053)461-2325

www.suzuki-music.co.jp



お問合せ
フォーム

1211-5C-APR-MM-119-A
00457-60024